

レガシーシステム刷新ソリューション「マイグレーション2.0」

システム再構築 方向性診断サービス

失敗事例の多い「マイグレーション・プロジェクト」を成功に導くシステムズの豊富なノウハウ

レガシーシステム刷新・再構築成功の鍵とは・・・

レガシーシステムの刷新による「システム再構築」の方法には、①新規再開発 ②ERP等のパッケージ導入、③マイグレーションという選択肢があります。これらの選択肢から、最適な刷新方法を検討するには、時間と労力が相当にかかってしまうのが現状です。



- ・現状システムのヒアリング
現状診断調査シートへのご記入 等
- ・各種資料の調査・分析
現在ご利用中の「仕様書」や「帳票」から

新規再開発

1. 大規模な改定が予定される
2. アプリケーションの仕様が明確
3. 費用 : 大

パッケージ導入 (ERP化)

1. 業務に特殊性がなく一般的
2. アプリケーションの仕様が明確
3. 費用 : 中

マイグレーション

1. 現行システムがそのまま利用できる
2. アプリケーションの仕様は問わない
3. 費用 : 小

システムズはお客様へのシステム ヒアリングを基に、**長年のマイグレーション実績から培ってきたノウハウを活用し** 貴社にとっての「**最善の選択肢**」をご提案いたします!

システム再構築方向性診断サービス/ご提案の概要

- ① 貴社アプリケーションの特徴
- ② システム再構築についての考察
 - ・各選択肢の参考概算費用・期間・メリット/デメリット
 - ・適合可能な主なERPパッケージ
期間・メリット/デメリット
- ③ 貴社システム再構築方策のご提案
- ④ 再構築システム稼動環境のご提案



クラウド時代のシステム再構築診断サービス

Cloud Modernization (クラウド'モダ'ナイゼ'ーション)

レガシー化した既存資産を活用する [クラウド移行アーキテクチャ設計支援]

レガシーシステム刷新 / クラウド モダナイゼーション成功の鍵とは・・・

レガシー化した
既存資産の特性分析



最適なクラウド
アーキテクチャの選定

様々なクラウド移行
パターンでの移行性検証

システムズは「独立系ベンダー」、「豊富で多種多様な移行実績」、「特許を取得した既存資産分析手法」の強みを活かし特定のソリューションやプラットフォームに縛られない、お客様のシチュエーションに応じた適材適所のベストプラクティスでの移行方針を導き出します。

クラウド モダナイゼーションを支える システム診断・維持改善 支援例

診断・維持改善

調査・分析

- 【スコープ定義】
- ・顧客要求把握
- ・対象範囲の確認
- ・システム化ニーズ
- 【調査・分析】
- － 経営方針
- ・重要課題確認
- ・施策仮説
- － 現状整理
- ・現行業務調査分析
- ・現行システム調査 (資産棚卸し)

テーマ・要件抽出

- 【テーマ・要件抽出】
- － 改善テーマ設定
- ・対象領域設定
- ・施策設定
- － システム化要件
- ・業務特性 (コア/ノンコア)
- ・アプリケーション要件
- ・ネットワーク要件
- ・運用要件
- ・移行性検証

ロードマップ策定

- 【ロードマップ作成】
- ・スケジュール
- ・優先順位付け

- 成果物(例)
- ・AsIs/ToBeシステムマップ
 - ・システムブロック図
 - ・システム課題、システム課題マップ
 - ・AsIs業務 & 情報の流れ (DMM、DFD、ERD、WFA)
 - ・AsIs診断書
 - ・ToBe方向性診断結果
 - ・資産棚卸し結果
 - ・改革(改善)テーマと施策・期待効果
 - ・変革のポイント
 - ・ロードマップ・優先順位付け

※)実施費用については、別途お問い合わせください。

[資料請求とお問い合わせ]

株式会社 **システムズ**

マイグレーション事業本部

東京都品川区西五反田7-24-5 日本生命西五反田ビル8F TEL 03-3493-0032 FAX 03-3493-2033
URL <http://www.migration.jp/> E-mail: migration@systems-inc.co.jp

●本紙に掲載された社名、商品名は各社の商標または登録商標です。
●本紙に掲載されている内容は、2011年 8月現在のものです。また、内容は改善のため予告なく変更することがあります。